

2016年12月11日 主日礼拝

司 会 ①山田兄 ②佐々木伸兄 ③滝山兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②多田兄

賛 美 讃美歌98番「あめにはさかえ」
(God is working for my good) (主の栄光宮に)

主の祈り

聖 書 ①② ヨハネによる福音書1章1～5・14節 (P135)
③ 詩篇16篇6～11節 (P758)

音 楽 ① 坪井永城師
②③ WINGS

証 詞 ①② 宮澤みゆき姉(ハンナ会)

メッセージ ①② 「私たちは見た(前編)」 倉知契副牧師
③ 「思い通りにいかないから人生は面白い」
大川従道牧師(V)

賛 美 「ああ恵み！」(593番・献金)
頌 栄 「主はいま生きておられる」 アーメン
祝 禱

「私は、いつも主のことを思っています。
主がすぐそばにいてくださるので、つまずいたり、
倒れたりする心配もありません。」(詩篇十六のハ・L・B)

【大和ニュース】

- ・ 本日1:30より地下ホールにて教会総会が開かれます。代議員諸兄姉は、資料ご持参でお集まり下さい。入門講座Ⅱ、手話、アンサンブル、SS主任、J.Plus。
- * 東京カルバリーは5時。広尾の教会にて。説教は大川牧師(V)。独唱は坪井先生。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜は石橋補教師。木曜朝は武井先生のお話と人形劇「シンデレラ」。婦人クリスマス祝会は午後から。喜び爆発Xマスです。
- ・ 準備祈禱会は金曜夜9時から10時半。説教は大野メディア主事。
- * トワエモワの白鳥英美子さんコンサートチケット販売中。集会後は特別価格!!
- * 今年も一年守られたことを感謝し「年末感謝献金」を捧げましょう。袋は受付。
- ☆ご結婚おめでとうございます。劉俊灝様と石橋亜希子様。土曜14:30 泉チャペル。

石の枕

～倉知契

淀川キリスト教病院理事長で、日本で初めてホスピス・プログラムをスタートした柏木哲夫先生が、『心のケアとコミュニケーション』という新刊を出されました。長年の臨床現場から得た「ケアの本質」に迫る良書の中で、フランスの医師アンブロワーズ・パレ(1510-1590)の名言が引用されます。

To Cure Sometimes 時に癒し
To Relieve Often しばしば苦痛を和らげ
To Comfort Always 常に慰める

医師は病気を「ときどき」しか治すことはできません。けれども、患者の症状を楽にしてあげることが「しばしば」できます。そして医師が患者を慰めることは「いつでも」可能です。柏木先生は、慰めることは医師から患者へのベクトル(方向)としながらも、慰められた患者は必ず何かを、慰めた医師に返してくる。最も多いのは具体的な感謝の気持ちを示してくれること。外科医の友人が「手術した患者さんが退院の日に『先生、本当に有難うございました』と言ってくれる、その言葉に支えられ、また頑張ろうという気持ちが湧いてくる」と話してくれた。だから「Care ケアは双方向性を持っているのです」というのが本書の内容です。哲学者、鷲田清一氏は言います。「生まれたばかりの赤ちゃんは、弱い存在ですが、疲れて帰ってきたお父さんは赤ちゃんのエネルギーに接し、『この子を守るために、また仕事を頑張ろう』という気持ちになります。支えられているはずの赤ちゃんが、お父さんを支えているのです。」

クリスマス。飼葉桶に寝かされたみどりごは、世の喧騒に疲弊する私たちに、愛と赦しのエネルギーを届けてくださいます。これから教会でなされるすべてのクリスマス・プログラムに、皆様と共に祈って参加してゆきたいと願いますが、きっと愛を注いだ分、いえそれ以上に、神様から贈り物を受け取るでしょう。また、このシーズンだからこそ、いつも全力でお仕えくださる大川先生・道子先生

に
「感謝の気持ち」を表わしたり、弱さや病床にいる兄弟姉妹に「一筆」して、共にクリスマスをお祝いすることも大切にしたいと思われまます。

慰めと感謝の双方向性。支えられ、支えるクリスマスの到来です！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース: 黙示録2章～8章 Bコース: ホセア書9章～オバデヤ書